



## ヤンゴン市職員の長期研修受入が始まります



姉妹都市であるミャンマー国・ヤンゴン市の技術系職員が、6月より約5か月間、福岡市のインフラ分野の技術や維持管理、運用ノウハウなどについて学びます。

福岡市では（一財）自治体国際化協会の「自治体職員協力交流事業」を活用し、平成26年度から長期研修受入を行っており、今年度は、新たに下水道分野を加えた計4名（水道分野2名、環境分野1名、下水道分野1名）の受入を行います。

また、研修に先立ち、貞刈副市長を表敬訪問されますので、是非、取材していただけますよう、よろしくお願いいたします。

### 《表敬訪問概要》

- 日時：平成30年6月28日（木） 17：00～17：30
- 場所：福岡市役所9階 副市長応接室
- 来訪者：ヤンゴン市開発委員会（ヤンゴン市役所に相当）職員4名
  - 給水衛生局（水道局に相当）2名 : 水道局を中心に受入
  - 公害防止清掃局（環境局に相当）1名 : 環境局を中心に受入
  - 道路橋梁局（道路下水道局に相当）1名 : 道路下水道局を中心に受入
- 対応者：福岡市副市長 貞刈 厚仁 ほか

### 《専門研修期間》

- 期間：平成30年6月29日（金）～11月16日（金）（予定）

研修員4名は、約5か月間、福岡市の職員とともに各分野の幅広い知識などを学び、あわせて市内では市民と同様の生活を送ってもらうなど、技術交流・文化の相互理解を促進するプログラムとなっています。

帰国後は福岡市の良き理解者として、両市のかげ橋となっていただくなどの役割が期待されています。

### 【お問い合わせ先】

総務企画局国際部国際協力課 橋本，安室  
TEL：711-4051(内線1329)，FAX：733-5597

**研修内容等について** : 日程・内容は天候等により変動する可能性があります

**水道分野** : 平成26年度より継続中、5年目

**予定されているプログラム (例)**

- ・カンントリーレポート発表会 (7月3日)
- ・福岡市水道技術研修所における実技研修 (8月8日～9日)
- ・浄水場、水道水質センターにおける研修
- ・アクションプラン発表会

**福岡市で学ぶこと (例)**

- 安全・安心でおいしい水道水の供給
- 世界トップレベルの低漏水率 (2.0%) の実現など、福岡市の無収水削減対策
- 日本の主要都市のなかでも非常に高い、市民の節水意識



昨年度の研修の様子

**環境分野** : 平成29年度より継続中、2年目

**予定されているプログラム (例)**

- ・カンントリーレポート発表会 (7月2日)
- ・「福岡方式」埋立技術の習得 (9月7日)
- ・清掃工場、資源化センター等における研修
- ・アクションプラン発表会

**福岡市で学ぶこと (例)**

- 低コストで簡便に整備が出来て、かつ跡地の早期利用が可能な埋立技術「福岡方式」
- 3R (ごみの減量・再利用・リサイクル)
- 全国でも数少ない、ごみの夜間収集 (渋滞緩和・治安/防災面でのメリット)



昨年度の研修の様子

**下水道分野** : 今年度より開始

**予定されているプログラム (例)**

- ・カンントリーレポート発表会 (7月2日)
- ・山王雨水調整池視察 (9月11日)
- ・雨水排水施設 (管きょ・ポンプ場) 建設現場における研修
- ・アクションプラン発表会

**福岡市で学ぶこと (例)**

- 都心部の浸水対策 (雨水整備レインポープラン博多・天神)
- 貯留・浸透施設による雨水流出抑制の取り組み
- 市民の安全・安心を守る、ハードとソフト両面からの浸水対策



JICA 事業における研修の様子

※カンントリーレポート発表会：ミャンマー国/ヤンゴン市が抱える課題を発表

※アクションプラン発表会：研修で学んだことを活かした、帰国後の具体的な行動計画を発表